

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：多文化社会の異文化「終活」を考えるセミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 主催：生涯発達研究所・多文化共生研究所
5. 共催：あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、多文化ソーシャルワーク・ムーブメント（TSM）
6. 開催日時：令和2年7月11日（土） 13：30～16：30
7. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
8. 登壇者：
〈ブラジルの場合〉
大島ヴィルジニア・ユミ 氏（ブラジリアンコミュニティ通訳サポートの会）
〈インドネシアの場合〉
ラッフマ・クマラ・デウィ 氏（日本インドネシア家族勉強会）
〈中国の場合〉
王榮氏（あいち多文化ソーシャルワーカーの会）
9. 参加者数：50名（一般）

【概要】

愛知県における外国人の「終活」に関する取組について愛知県多文化共生推進室から報告され、在日外国人の「終活」事情としてブラジル、インドネシア、中国の事情について報告された。

最後のディスカッションでは、国籍・地域・文化・宗教・世代等による「終活」の考え方の多様性と共通性に関心を持たれた方が多く、活発な討論がなされた。

【チラシ】

愛知県立大学創設50周年・長久手移転20周年記念事業関連企画

多文化社会の
異文化「終活」を考えるセミナー

外国人高齢者は急増しています。
日本で人生を過ごす人も増えていくと考えられます。
「死」に対する考え方は、文化や宗教、習慣、価値観のちがひによって様々です。
多文化社会では、こうしたことを十分に理解することが大切です。
異文化「終活」は、今後、考えていかなければならない課題です。
このセミナーが、今後の取り組みにつながるよう参加者といっしょに考えていきたいと思います。

日 時：2020年7月11日（土）
13:30～16:30（受付:13:00～）
方 法：Zoomでのオンラインミーティング
参加費：無料

参加を希望される方は、7月9日（木）までに、「セミナー申込」と
明記のうえ、以下のメールアドレスまで申し込みください。
tabunka.social.movement@gmail.com(TSM事務局)

- 1 セミナーの趣旨説明
多文化ソーシャルワークにおける異文化理解の必要性について
- 2 愛知県からの説明
愛知県における外国人の「終活」に関する取組について（愛知県多文化共生推進室）
- 3 在日外国人の「終活」事情
ブラジルの場合：大島ヴィルジニア・ユミ 氏（ブラジリアンコミュニティ通訳サポートの会）
インドネシアの場合：ラッフマ・クマラ・デウィ 氏（日本インドネシア家族勉強会）
中国の場合：王榮 氏（あいち多文化ソーシャルワーカーの会）
- 4 ディスカッション

主催：愛知県立大学生涯発達研究所・多文化共生研究所
共催：愛知県立大学地域連携センター、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、
多文化ソーシャルワーク・ムーブメント(TSM)

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：発達障がいフォーラム ウィズコロナ時代の子育てを考える
2. 事業種別：共催
3. 申請者：三山 岳（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
4. 主催：生涯発達研究所
5. 開催日時：令和2年8月21日（金） 13：30～15：30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：荒井 聡 氏
（豊島区保育園巡回相談アドバイザー
／元駒沢学園駒沢女子短期大学保育科 非常勤講師）
8. 参加者数：30名（一般）

【概要】

講師の荒井氏からは「ウィズコロナ時代において、保育環境は大きく変わったようにも感じるが、発達障がいのある子どもにとって必要なことは子どもにとってリアルな人どうしの関係があるかが重要である。子育て環境との相互作用を紡ぎだすために保護者と保育者が共同して子どもの発達を支えていくことがウィズコロナ時代にはますます大切である」ということが講演で語られた。

【チラシ】

【主催】愛知県立大学生涯発達研究所 【共催】瀬戸市学校教育課
瀬戸市児童発達支援センター 発達支援室
愛知県立大学地域連携センター

発達障がいフォーラム

ウィズコロナ時代の子育てを考える

ウィズ・コロナの時代のもとで、子育てのあらゆる場面で、リスクを減らすこと、可能性をひるげることのふたつが、ありか変わりました。そんな中、特に、発達に障がいのある子どもの可能性を伸ばすにはどうしたらよいか、考えたいと思います。

日時 2020年8月21日（金） 13:30～15:30

場所 瀬戸市文化センター 第31会議室
（瀬戸市西茨町113-3）

講師 荒井聡さん（豊島区保育園巡回相談アドバイザー）
早稲田大学大学院文学研究科心理専攻卒業
元：駒沢学園駒沢女子短期大学保育科非常勤講師
著書『具体例で学ぶ保育園での保護者支援
—気になる子・障害児をともに育てるために—』（群青社）

参加費 無料 申込先 愛知県立大学 地域連携センター

定員 20名 URL <http://www.bur.sci-n-pu.ac.jp/renkei/regional/lancoas/019233.html>

締切 8月7日 または右のQRコードより申し込みください。

新大学誕生10周年・長久手移転20周年記念事業関連企画 / 教育福祉学部「地域共生プロジェクト」

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」
第1回「地域で支える医療・保健衛生」と多文化共生
2. 事業種別：共催
3. 申請者：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
4. 主催：多文化共生研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター・NPO法人 地域と協同の研究センター
6. 開催日時：令和2年8月23日（日） 13:00～16:30
7. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
8. 講師：早川 純午 氏（名南ふれあい病院 医師）
9. 登壇者：高田 弥生 氏（アジア保健研修所）
岩本 里美 氏（JA 愛知厚生連 足助病院 看護師）
10. 司会：神田 すみれ（愛知県立大学多文化共生研究所 研究員）
11. 参加者数：23名（一般）

【概要】

〔基調講演〕社会的決定要因と多文化共生

講師：早川 純午 氏（名南ふれあい病院 医師）

〔事例報告〕

・「4A1Qな地域ヘルスケアシステムづくり フィリピン リサール州タナイ町」

高田 弥生 氏（アジア保健研修所）

・「地域における住民の支え合いと健康づくりの取り組み」

岩本 里美 氏（JA 愛知厚生連 足助病院 看護師）

〔パネルディスカッション〕

樋口 倫代 氏（Bridges in Public Health 代表）による進行のもと、講師・登壇者と参加者で意見交換がされ、議論が深められた。

【セミナー運営の様子】



【セミナー運営の様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：愛知県立大学公開シンポジウム「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」
大航海時代のキリシタン文学—グローバル社会の形成に果たした日本の役割—
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 主催：日本文化学部
5. 開催日時：令和2年10月14日（水） 14：00～17：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：パトリック・シュウエマー 氏（武蔵大学人文学部 准教授）
8. パネリスト：南郷 晃子 氏（神戸大学国際文化研究推進センター 協力研究員）
服部 光真 氏（元興寺文化財研究所 研究員）
9. コメンテーター：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
10. 参加者数：157名（一般）

【概要】

【基調講演】

排耶書に見られるキリシタン知識の伝承 否定という受容

パトリック・シュウエマー氏（武蔵大学人文学部 准教授）

【シンポジウム】

『吉利支丹物語』へのアプローチ

—「異」を読む、「異」から読む

三宅宏幸准教授（愛知県立大学日本文化学部）による司会のもと、パネリストからの報告後、講師・コメンテーターとともに江戸時代初期の「異」文化への、あるいは「異」文化からの視点について議論した。

【シンポジウムの様子】



【チラシ】

愛知県立大学公開シンポジウム
世界展開する海外日本研究者に学ぶ

大航海時代のキリシタン文学

—グローバル社会の形成に果たした日本の役割—

日時 2020年10月14日（水）14:00-17:00
オンライン開催（Zoom）参加費無料（定員100名）

参加方法 本学地域連携センターウェブサイト（<http://www.bur.aichi-u.ac.jp/renkei/>）
にアクセスいただき、「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」より所在地の申込
メールアドレスに情報をご入力ください。

■ 司会の幹：大塚 美二（愛知県立大学日本文化学部長 教授）
■ ごあいさつ：久富木原典（愛知県立大学 学長）

■ 基調講演
排耶書に見られるキリシタン知識の伝承 否定という受容
パトリック・シュウエマー 氏（武蔵大学人文学部 准教授）
私は大航海時代（16～17世紀）の日本周辺における書物と著作の伝播史を研究して
います。歴史、人文文化領域内ならぬ外にわたってその結果、世界が広がってしまっ
ています。グローバル社会の形成に日本が中心的な役割を果たした時代へと歴史の流れを、
世界を考へ直してみたい。

■ シンポジウム 司会：三宅 宏幸（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
『吉利支丹物語』へのアプローチ —「異」を読む、「異」から読む
南郷 晃子（神戸大学国際文化研究推進センター（Promis）協力研究員）
服部 光真（元興寺文化財研究所 研究員）
（コメンテーター）
中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部 教授）
後崎 智央（愛知県立大学国際文化研究科日本文化専攻博士前期課程）

シュウエマー氏と南郷氏、服部氏は、キリシタン文学やキリシタン書を課題とする読書会を行って
きました。文学・歴史学など異なる専門分野を持つ者たちが共同で「異」文化への理解と伝播の
歴史をめぐり研究の進め、またその成果を、税金基幹言語学対話型（英語）の読書会やSNSに紹介
いただき、そこから見える江戸時代初期の「異」文化への、あるいは「異」文化からの視点につ
いて議論し、大航海時代の日本について考えます。

主催：愛知県立大学日本文化学部
共催：愛知県立大学地域連携センター

愛知県長久手市栄ケ草場1522-3
愛知県立大学学務部 研究支援・文化連携課
TEL: 0561-7618845 FAX: 0561-64-1104
E-mail: renkei@bur.aichi-u.ac.jp

愛知県立大学
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

花ひろく 底力
1949年 生まれ

愛知人文学会4thサミット
Aichi Christian Literature Society 4th Summit

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：学習・生活支援事業の論点：教育と福祉の〈協調〉と〈対立〉
2. 事業種別：共催
3. 申請者：野田 博也（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
4. 主催：生涯発達研究所
5. 開催日時：令和2年10月28日（水） 13：00～15：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 登壇者：山田 恭平 氏（特定非営利活動法人 こどもNPO 副理事長）
大貫 守（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
野田 博也（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
寺谷 直輝（愛知県立大学人間発達学研究所博士後期課程）
8. 参加者数：60名（一般・学生）

【概要】

本講座では、「学習・生活支援事業の論点：教育と福祉の〈協調〉と〈対立〉」をテーマとして、愛知県名古屋市で当該事業を担いながら積極的に社会的発信を行う団体の職員（役員）による現場報告をもとに、当該事業の制度・政策状況の解説、障害を抱える者の学習・教育に関わる実践報告を踏まえ、教育と福祉にまたぐ論点について議論を深めた。

【講座運営の様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
4. 主催：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」実行委員会
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年11月3日（火）～11月30日（月）
7. 会場：名古屋市営地下鉄「東山公園」駅コンコース

【概要】

国際関係学科2-3年次選択専門科目「プロジェクト型演習A: 写真・映像による調査と表現」の履修生を中心に、学科学生有志の参加を得て、毎年秋の恒例の写真展を実施した。新型コロナウイルス感染症の流行で、留学や旅行がしにくい時期に当たったものの、手持ちの写真の中から自信作を持ち寄り、また、国内の近隣地域での撮影活動を進めることによって、今回の企画が実現した。最終的に、21人による7か国（日本、フィリピン、ベトナム、タイ、チェコ、メキシコ、オーストラリア）で撮影された作品52点を公開展示した。

【写真展の様子】



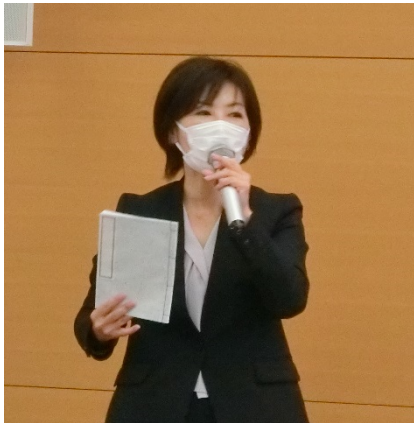
【集合写真】



令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：和装本講座
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 主催：日本文化学部
5. 開催日時：令和2年11月4日（水） 14：00～17：00
6. 会場：長久手キャンパス 小ホール
7. 講師：林 知左子 氏（愛知県西尾市岩瀬文庫）
8. 参加者数：23名（一般・学生）

【講師による説明】



【チラシ】



【参加者と完成した和装本】



令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」
第2回「With コロナ」時代の労働市場と外国人材の育成
2. 事業種別：共催
3. 申請者：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
4. 主催：多文化共生研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年11月8日（日） 13：30～16：30
7. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
8. 講師：本庄 俊和 氏（愛知県政策企画局国際課 課長補佐）
9. 登壇者：阿部（董） 夢（愛知県立大学多文化共生研究所 客員共同研究員）
上田 崇仁 氏（南山大学人文学部日本文化学科 教授）
CAO THO（カオ トー） 氏（星城大学経営学部）
川田 成良 氏（中央工機株式会社人事部 部長）
10. 参加者数：16名（一般）

【概要】

〔基調講演〕愛知県の留学生施策～留学生の地域定着・活躍促進を目指して～

講師：本庄 俊和 氏（愛知県政策企画局国際課 課長補佐）

〔事例報告〕・「留学生の進路調査の結果とコロナ禍による就職活動への影響」

阿部（董） 夢（愛知県立大学多文化共生研究所 客員共同研究員）

・「これからの日本語教員養成・日本語教師が担う役割」

上田 崇仁 氏（南山大学人文学部日本文化学科 教授）

・「コロナ禍を経験した私の日本での就職活動」

CAO THO（カオ トー） 氏（星城大学経営学部）

・「労働市場の変化と外国人材に期待すること」

川田 成良 氏（中央工機株式会社人事部 部長）

〔パネルディスカッション〕

阿部夢氏による進行のもと、講師・登壇者と参加者で意見交換がされ、議論が深められた。

【セミナー運営の様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：令和2年度 第1回 愛知県立大学 世界史セミナー
「第一次世界大戦とヨーロッパ東部地域の再編」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：久田 由佳子（愛知県立大学外国語学部英米学科 教授）
4. 主催：愛知県立大学世界史研究会
5. 開催日時：令和2年11月14日（土） 16：00～18：00
6. 会場：サテライトキャンパス／オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：安井 教浩 氏（常磐短期大学 教授）
8. 参加者数：29名（一般）（サテライトキャンパス：9名 Zoom：20名）

【セミナーの様子】



【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業
ミニ公開講座

2020年度愛知県立大学世界史セミナー 第1回

「第一次世界大戦とヨーロッパ東部地域の再編」

18世紀末のポーランド分割後、国家としてポーランドが再建されることになる20世紀初頭を中心に、第一次世界大戦後の東欧世界の再編について講演します。

日時 2020年11月14日(土)16：00～18：00

場所 愛知県立大学サテライトキャンパス（会場定員30名）
（オンラインZoom併用開催）
名古屋市中村区名駅4丁目4-38
愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」15階

講師 常磐短期大学 教授 安井 教浩 氏 参加費無料

■ 申込方法 | いずれかの方法でお申込みください。
(定員になり次第、申込を締め切ります。)

① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム
<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>

② FAX
「世界史セミナー第1回申込」、「氏名(ふりがな)」、
「電話番号」、「FAX番号」を記載して、
0561-64-1104 あてにFAXしてください。

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ畑1522番3
メール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

主催：愛知県立大学世界史研究会 共催：愛知県立大学地域連携センター

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：国際 HAIKU プロジェクト 詩人と俳句—俳句と詩のバイリンガリズム
2. 事業種別：共催
3. 申請者：宮崎 真素美（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 主催：文字文化財研究所
5. 開催日時：令和2年11月23日（月・祝） 13:30～15:30
6. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
7. 講師：九里 順子氏（宮城学院女子大学 教授）
8. コメンテーター：坪井 秀人氏（国際日本文化研究センター 教授）
宮崎 真素美（愛知県立大学文字文化財研究所 所長）
9. 参加者数：133名（一般・学生）

【概要】

〔基調講演〕

トレーニングと扉——克衛・犀星・夕爾
九里 順子氏（宮城学院女子大学 教授）

〔ディスカッション〕

講師とコメンテーターによる三者による
討議を展開した。

【チラシ】

愛知県立大学文字文化財研究所事業 2020
国際 HAIKU プロジェクト

詩人と俳句

—俳句と詩のバイリンガリズム

日時 2020年11月23日（月・祝）13:30～15:30
オンライン（Zoom）

基調講演 九里 順子氏（宮城学院女子大学教授）
「トレーニングと扉——克衛・犀星・夕爾」

コメント 坪井 秀人氏（国際日本文化研究センター教授）

討論 九里 順子×坪井秀人×宮崎真素美（愛知県立大学文字文化財研究所長）

参加方法 本学地域連携センターウェブサイト（<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renbei/>）にアクセスいただき、「国際HAIKUプロジェクト」より所定の中込メールアドレスに情報をご入力ください（定員に限り次第、募集は終了します）。

お問い合わせ 愛知県立大学学生会館1522-3
愛知県立大学学術情報部 研究支援・地域連携課
TEL:0561-76-8843 FAX:0561-64-1104
E-mail:renbei@bur.aichi-pu.ac.jp

主催：文字文化財研究所
共催：地域連携センター

愛知県立大学
国際日本文化研究センター
愛知県立大学学生会館

【ディスカッションの様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：第3回 県大国際セミナー 2020年の世界情勢 新型コロナと世界
2. 事業種別：主催
3. 申請者：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
（OKB大垣共立銀行との「産学連携に関する協定」に基づく連携事業）
5. 開催日時：令和2年11月29日（日） 13:00～15:15
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 登壇者：加藤 直人氏（中日新聞・東京新聞 論説委員）
伊藤 健太郎氏（OKB大垣共立銀行 海外事業推進部 調査役）
鮎京 正訓（愛知県公立大学法人 理事長）
奥野 良知（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
奥田 泰広（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
8. 司会：鈴木 隆（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
9. 参加者数：56名（一般）

【セミナーの様子】



【チラシ】

愛知県立大学
Aichi Prefectural University

OKB 大垣共立銀行

第3回 国際セミナー 2020年の世界情勢 新型コロナと世界

新型コロナの影響を踏まえて、2020年の世界情勢と今後の展望について、加藤直人氏（中日新聞論説委員）と伊藤健太郎氏（OKB大垣共立銀行調査役）、本学教員から20分ずつの報告と質疑応答を行います。

テーマおよび講師陣（順番は入れ替わる場合があります）

1. EU離脱後のイギリスと「グローバル・ブリテン」構想
奥田 泰広氏（愛知県立大学外国語学部 准教授）
2. カタール・ニヤ・スペイン問題：要因、国際問題化、コロナ禍での展開
奥野 良知氏（愛知県立大学外国語学部 教授）
3. 東南アジア法の現在
鮎京 正訓氏（愛知県公立大学法人 理事長）
4. ベトナムの最新投資環境事情
伊藤 健太郎氏（OKB大垣共立銀行海外事業推進部 調査役）
5. 香港の民主弾圧と強権中国
加藤 直人氏（中日新聞・東京新聞 論説委員）

司会：鈴木 隆氏（愛知県立大学外国語学部 准教授）

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：虐待防止・対応セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 主催：愛知県立大学生涯発達研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年12月4日（金） 14:00～16:00
7. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
8. 登壇者：葛西 耕介（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
水野 みち代 氏・酒井 多輝子 氏（SSW）
高木 敦子 氏（瀬戸市発達支援室長）
梅山 佐和 氏（東京学芸大学教育学部 講師）
9. 参加者数：50名（一般・学生）

【概要】

- 「チーム学校」とは
葛西 耕介 准教授（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科）
- 連携協議会関係機関とスクールソーシャルワーカーの連携
 - ・瀬戸市におけるスクールソーシャルワーカー
水野 みち代 氏（SSW）
 - ・要保護対策地域連携協議会について
高木 敦子 氏（瀬戸市発達支援室長）
 - ・関係機関とスクールソーシャルワーカーとの連携
酒井 多輝子 氏（SSW）
 - ・スクールソーシャルワーカーが要対協メンバーとなって良かったこと
- 子どもの育ちを支えるつながり～チーム学校とスクールソーシャルワーカー
梅山 佐和 講師（東京学芸大学教育学部）

【チラシ】

主催：愛知県立大学生涯発達研究所
共催：愛知県立大学地域連携センター

毎日子どもが通っている学校は、虐待に気づきやすい場の一つです。虐待の防止・早期発見・対応につながる、学校・スクールソーシャルワーカーと関係機関の連携について考えましょう。

「チーム学校」とは
葛西耕介（愛知県立大学教育福祉学部）

要保護児童対策地域協議会関係機関と
スクールソーシャルワーカーの連携
高木敦子（瀬戸市家庭児童相談室）
瀬戸市スクールソーシャルワーカー

子どもの育ちを支えるつながり
～チーム学校とスクールソーシャルワーカー～
梅山佐和（東京学芸大学教育学部）

【日時】
12月4日（金） 14:00～16:00

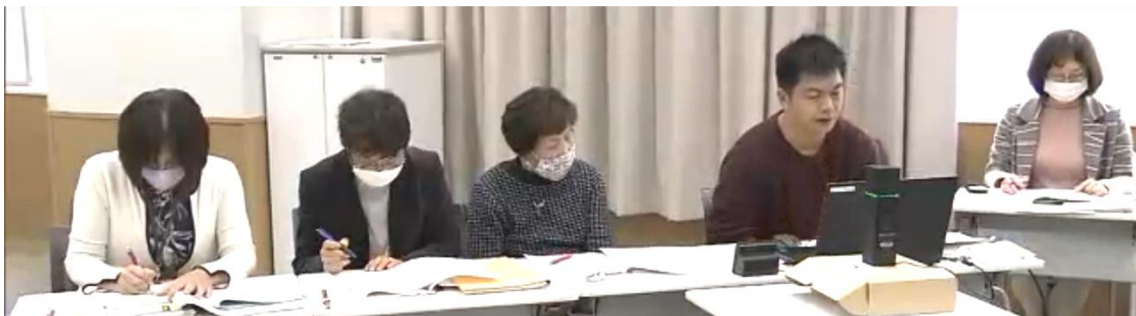
【開催形態】 zoomで配信

【定員】 70名

【申込先】
愛知県立大学地域連携センターウェブサイト特設ページ
URL: <https://www.aic.ac.jp/kyoukaibu/kyoukaibu/kyoukaibu/kyoukaibu/kyoukaibu/>
締め切り：11月2日（金）（定員に達し次第締め切らせていただきます）

申込ページ
はこちら

本セミナーは特別行政法人愛知県児童福祉センター「全府県児童福祉委員会の発展向上のための研修プログラム開発・実施支援事業」に実施されています。



令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：《災害と文化財》シリーズ5周年シンポジウム
「地域の文化財ネットワークを考える—瀬戸・長久手・豊田エリア—」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
4. 主催：愛知県立芸術大学・愛知県立大学日本文化学部
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター
6. 開催日時：令和2年12月6日（日） 13:00～15:30
7. 会場：S201／オンライン（Zoom ウェビナー）
8. 講師：村田 眞宏 氏（豊田市美術館 館長）
9. 発表者：大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
阪野 智啓（愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻 准教授）
10. 討論会座長：北田 克己（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所 所長）
11. 参加者数：82名（一般・学生）（Zoom：57名 会場：25名）

【概要】

〈基調講演〉災害にそなえる 情報とネットワーク

村田 眞宏 氏（豊田市美術館 館長）

〈2大学取組み発表〉

大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）

阪野 智啓（愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻 准教授）

〈討論会〉地域ネットワークと大学の関わり

北田 克己 所長（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）を座長に村田氏、大塚教授による討論会のあと、質疑応答では参加者から様々な質問・意見が寄せられた。

【チラシ】

The flyer is for a symposium titled "Regional Cultural Heritage Network Thinking" (地域の文化財ネットワークを考える) as part of the 5th anniversary of the "Disaster and Cultural Heritage" series. It is held on December 6, 2020, from 13:00 to 15:30 at Aichi Prefectural University, Chikusa Campus, S201 Classroom. The event is co-organized by Aichi Prefectural University and Aichi University. The main speaker is Makihara Makihiko (Director of Toyokuni Museum). Other participants include Etsuko Otsuka and Tomoki Sakano. A discussion session is moderated by Katsuyuki Kitahara. The flyer includes contact information for the organizing committee and a QR code for registration.

【シンポジウムの様子】



令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：インドネシア現地経済事情講習会
～新型コロナ禍のインドネシア経済とオムニバス法～
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 共催：東南アジア学会
6. 開催日時：令和2年12月11日（金） 18：30～20：10
7. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
8. 講師：松井 和久 氏（愛知県立大学客員共同研究員）
9. 参加者数：31名（一般）

【講習会の様子】



【チラシ】

愛知県立大学 ミニ公開講座

愛知県立大学 地域連携センター

インドネシア現地経済事情講習会 新型コロナ禍のインドネシア経済と オムニバス法



日時 2020年12月11日（金）
18:30～20:00（受付開始18:00～）

形式 オンラインZoom開催
※対面式会場はありませんので、ご注意ください。

講師 愛知県立大学 客員共同研究員
元JETROアジア経済研究所主任研究員
松井和久 氏



■ 募集期間 | 2020年12月4日（金）まで
■ 申込方法 | いずれかの方法でお申込みください。
① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム
<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>
② メール
メールタイトルを「インドネシア現地経済事情講習会」とし、
氏名（ふりがな）、メールアドレスを記載して、renkei@bur.aichi-pu.ac.jpあてに送信してください。

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市茶ヶ畑1522番3
メール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」
第3回「障害者権利条約と多文化共生」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
4. 主催：多文化共生研究所
5. 共催：愛知県立大学地域連携センター・NPO法人 地域と協同の研究センター
6. 開催日時：令和2年12月20日（日） 13：00～16：30
7. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
8. 講師：鈴木 清覚 氏（社会福祉法人ゆたか福祉会 理事長）
9. 報告者：篠原 豊郷 氏（社会福祉法人ゆたか福祉会 生活サポートセンター名倉）
アンドレア・カールソン（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
宇川 賢彦 氏（社会福祉法人ゆたか福祉会 事務長）
10. 司会：神田 すみれ（愛知県立大学多文化共生研究所 研究員）
11. 参加者数：68名（一般）

【概要】

〔基調講演〕鈴木 清覚 氏「社会的決定要因と多文化共生」

〔事例報告〕

- ・篠原 豊郷 氏「重度心身障がいのある児童の学ぶ権利と地域の役割」
- ・アンドレア・カールソン准教授「多様な背景やアイデンティティを持つ子ども・若者のメンタルヘルスと受け入れ社会におけるウェルビーイング」

〔パネルディスカッション〕

講師・報告者に金城ナヤラ ナツミ氏（ブラジル友の会 理事）が加わり、参加者で意見交換がされ、議論が深められた。

〔取組報告〕

宇川 賢彦 氏「ベトナム・フエでの人材交流と提携の取組」

